| 学校番号 | ３０９ |
|---|---|

令和５年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | ﾗｲﾌｽﾎﾟｰﾂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ニュースポーツなどを取り入れ、健康の促進とコミュニケーション能力を広げ、生涯を通して豊かなスポーツライフを実践できる資質を磨く。また、体育科授業の指導実践を行い、そのスポーツの特徴や楽しさにふれながら、効果的な指導方法について学ぶことで、生涯にわたりスポーツの振興や発展に携わることができる人材の育成を目指す。

2　学習の到達目標

個人、集団それぞれにおいて、スポーツを楽しみながら継続的に実践する習慣を身に着けることの重要性を理解する。また、スポーツの指導実践を通して、特定のスポーツの楽しさを効率的に伝えるための基本的な手法を学ぶ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・健康や運動に対する意見をもち、他者の発言や新たな情報等に関して、興味関心をもって聞くことができる。<br>・積極的に楽しみ、競技に参加することができるとともに、相手を敬う態度が見られる。<br>・安全性にも配慮できる。 | ・チームプレイにおいて声を出してコミュニケーションを図り、集団を意識して戦略を伝達する力。<br>・対戦計画やチームの編成、ゲームスコアや記録をとり、反省材料として戦略に反映させる。<br>・リーダーとしての資質。 | ・丁寧な準備・計画、そのスポーツの特性を十分に理解したうえで適切な動きができる。またその主旨を集団に浸透させることができる。<br>・基本技能の確保・技能ポイントの理解<br>・楽しむことと同時に事故や怪我の予防にも注意できる。 | ・ルールの把握。<br>・競技の醍醐味を味わうために、ニュースポーツや各種目の歴史や特性を学び、深く理解する。<br>・起こりやすい怪我や事故等の情報を収集する。<br>・指導実践における指導案の書き方と授業の進め方を学ぶ。 |
| 評価方法 | ・出欠、忘れ物<br>・学習の観察<br>・基本技能のスキルテスト<br>・ゲームのスコア、記録測定 | ・学習の観察<br>・チームやグループの記録用ノートやプリントの作成、提出 | ・学習の観察<br>・複数名、もしくはグループ、チーム等で行う応用的なスキルテストまたはゲーム | ・学習の観察<br>・適切な説明や指示<br>・指導案の完成度<br>・指導実践の様子<br>・指導者のフィードバック記入内容 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 選択　ライフスポーツ | ニュースポーツの魅力にふれよう(インディアカ・アルティメット・スリータッチボール・フライングバードゴルフなど) | ○ | ○ | ○ | ○ | a：楽しさや喜びを味わえるよう、自主的に取り組んだか<br>b：生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた工夫をしたか<br>c：特性に応じたプレイをするために仲間との連携した動きを身につけることができたか<br>d：ルールや競技の特性や醍醐味を理解し、自己の指導実践に活用しようとしたか | 受講態度の観察<br>プリント<br>レポート<br>技術観察<br>実技テスト |
| 2学期 | 選択　ライフスポーツ | 生涯スポーツの魅力を伝える授業実践(3人1組で種目を決め、その種目について研究し指導案を作成する。指導教諭に指導助言をもらいながら従業準備を進め、授業を行う。) | ○ | ○ | ○ | ○ | a：楽しさや喜びを味わえるよう、自主的に取り組んだか<br>b：生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた工夫をしたか<br>c：特性に応じたプレイをするために仲間との連携した動きを身につけることができたか<br>d：ルールや競技の特性や醍醐味を理解し、自己の指導実践に活用しようとしたか | 受講態度の観察<br>指導案<br>指導の様子<br>技術観察<br>実技テスト |
| 3学期 | 選択　ライフスポーツ | 生涯スポーツの魅力を伝える授業実践(3人1組で種目を決め、その種目について研究し指導案を作成する。指導教諭に指導助言をもらいながら従業準備を進め、授業を行う。)<br>ニュースポーツの魅力にふれよう(インディアカ・アルティメット・スリータッチボール・フライングバードゴルフなど) | ○ | ○ | ○ | ○ | a：楽しさや喜びを味わえるよう、自主的に取り組んだか<br>b：生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた工夫をしたか<br>c：特性に応じたプレイをするために仲間との連携した動きを身につけることができたか<br>d：ルールや競技の特性や醍醐味を理解し、自己の指導実践に活用しようとしたか | 受講態度の観察<br>指導案<br>指導の様子<br>技術観察<br>実技テスト |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。